

# 2年連続で1000億円台の予算案… くらし応援の予算編成こそ区民の願いです

	2020年度	2019年度	増減	増減率
一般会計	1069億7000万円	1022億9000万円	46億8000万円	4.6%
国民健康保険特別	237億6500万円	246億2800万円	8億6300万円	3.5%
後期高齢医療特別	50億8900万円	50億2800万円	6100万円	1.2%
介護保険特別	184億9400万円	174億9500万円	9億9900万円	5.7%
特別＝特別会計	＝マイナス			

## 新年度予算の主な事業

**児童相談所の設置**  
今年4月から荒川区子ども家庭総合センターを開設、7月から同センター内で児童相談所の業務開始。【13億3,163万円】

**障害者基幹相談支援センターの開設**  
障害者のお困りごとに、公民協働で応える、相談と支援の拠点施設を開設【2,578万円】

**荒川遊園リニューアル**  
大型遊具や園内の配置、新設施設等全面リニューアルを行います。都電を降りたところから遊園入り口までの通路も整備します。【11億5,124万円】

**水害対策の充実・強化**  
大規模化する水害対策として情報伝達体制や電力確保手段の多重化など充実強化【5億4,209万円】

**新たな公共施設整備**  
宮前公園の整備【13億351万円】  
新尾久図書館の整備【8億3,353万円】  
ふれあい館の整備

東尾久本町通ふれあい館（、ひぐらしふれあい館を整備（2022年開設予定）【10億6,226万円】

日暮里活性化施設の開設  
日暮里繊維街にファッション関連創業支援施設や区民事務所の施設を開設【8億7,398万円】

他に中1基礎が区力向上事業（926万円）、認可保育園の整備（10億7316万円）交通事故ゼロの取り組み（624万円）など

**年金は削減、家計消費も軒並み減少**  
昨年10月の消費税増税は、区民のくらしや地域の中小業者者に深刻な影響を及ぼしています。景気動向指数は4カ月連続マイナスイナス、日銀の景況感調査も個人景

況感が6期連続マイナスイナス、スーパーマーケットの倒産も増えています。消費税増税、「軽減税率」対応などの設備投資も経営を圧迫しています。区内の料飲業者に聞いて「12月1月と確実に客足が遠のいている」「新橋あたりでもぱつたりのようだ」など深刻な影響が出ているようです。

**消費増税後のくらしと地域経済は深刻です**  
子育て、介護・医療、産業振興など願い実現へ全力  
2月13日から3月13日まで約1カ月の予定で区議会2月会議が開かれます。最大の議案は、2020年度予算の審議です。  
1月31日にプレス発表された予算案は、一般会計で1070億円、2年連続1000億円台。その他、国民健康保険や介護保険などの特別会計も提案されています。では、一般会計を見てみます。

**増税容認では区民のくらしに寄り添えない**  
区は、昨年の議会で消費税増税について「社会保障のために必要」「国も区も景気対策で万全を期す」などと容認してきました。低所得者向け「プレミアム商品券」の申請も対象の2割程度で大失敗です。そのもとで出された予算には、くらし応援も区内仕事興しも新規事業は見当たりません。くらし福祉まもる自治体の役割が問われます。

## 介護や子育て支援で条例提案 予算の0.35%で実現できます



今回提案された予算全体を見ると、区民のくらしや地域経済の困難に寄り添い、応援する事業がきわめて不十分です。日本共産党区議団は、区民アンケートや日常の相談や区民のみなさんとの対話を通じて寄せられた区民のくらしの実態を踏まえて、5件の条例を提出しました。予算の編成権は区長にあります。議員の権限として区民要求を条例にして提案することができません。他党派の呼びかけで実現に向けて力を尽くします。なおこの5件の条例案は、19、20日の各常任委員会で審査される予定です。

**2月区議会の日程（予定）**  
2月13日（木）、17日（月） 本会議  
（共産党は13日小林区議、17日相馬区議が質問します）  
2月19日（水）10時～ 総務企画、福祉区民各委員会  
2月20日（木）10時～ 文教子育て、建設環境各委員会  
2月28日（金）10時～ 本会議（補正予算中間議決）  
2月25日（火）26日（水）28日（金）  
3月2日（月）3日（火）5日（木）6日（金） 9日（月）  
10時から15時 予算特別委員会  
3月13日（金） 10時～ 本会議

条例名	条例内容	予算額
就学援助の実施に関する条例	現在の就学援助の基準を生活保護基準の1.2倍から1.5倍まで引き上げる。	9200万円
シルバーパス費用負担額の助成に関する条例	シルバーパスの取得で購入費用が20510円の方に15000円を助成するなど負担軽減を図る	3700万円
高齢者に係る介護保険料の負担の軽減に関する条例	介護保険料の1段階から5段階の方の負担を軽減することで、高齢者の福祉の増進、生活の安定を図る	1億4700万円
住宅リフォームの促進及び区内施工業者仕事づくり条例	区内業者が行うリフォーム工事で要した経費の5分の1で40万円を上限に助成する。（当面1年限りの緊急対策）	4000万円
子どもの医療費の助成に関する条例の一部改正する条例	中学生までの無料化を18才まで拡大する。	5200万円
		合計3億6800万円

日本共産党荒川区議会議員  
**横山幸次** 区政報告  
ニュース  
2020年 2月号外 発行 日本共産党荒川区議会区議団  
区議団控室 TEL 3802-4627 FAX 3806-9246  
E-mail: arajcp@tcn-catv.ne.jp  
町屋相談室 荒川区町屋5-3-5 3895-0504  
E-mail: kouji.office@gmail.com

荒川区政の各種情報・話題は...  
横山幸次区議のホームページで  
ニュースのバックナンバーも5年分  
をPDFでご覧になれます。検索で  
「横山幸次」と入力して下さい。

裏面 区の認可保育園第一次審査結果、不燃化特区の現状...な

地域	クラス年齢												合計	
	0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		申込者数	
	申込者数	不承諾者数	申込者数	不承諾者数	申込者数	不承諾者数	申込者数	不承諾者数	申込者数	不承諾者数	申込者数	不承諾者数	申込者数	不承諾者数
南千住	78		145		24		29		8		4		288	
	71	7	126	19	23	1	26	3	5	2	4	0	255	32
荒川	61		83		24		17		2		1		188	
	53	8	70	13	21	3	16	1	1	1	0	1	161	27
町屋	58		71		20		9		1		0		159	
	51	6	55	15	18	2	7	2	1	0	0	0	132	25
尾久	120		176		44		35		7		2		384	
	90	30	141	35	38	6	27	8	5	2	1	1	302	82
東尾久	70		102		25		16		5		2		220	
	49	21	83	19	22	3	15	1	3	2	1	1	173	47
西尾久	50		74		19		19		2		0		164	
	41	9	58	16	16	3	12	7	2	0	0	0	129	35
日暮里	104		153		24		35		5		1		322	
	95	9	105	47	18	5	30	4	2	3	0	1	250	69
東日暮里	49		79		11		18		2		0		159	
	46	3	59	19	9	2	16	1	0	2	0	0	130	27
西日暮里	55		74		13		17		3		1		163	
	49	6	46	28	9	3	14	3	2	1	0	1	120	42
合計	421		628		136		125		23		8		1,341	
	360	60	497	129	118	17	106	18	14	8	5	3	1,100	235

注釈1 申込者数等は、令和2年4月1次審査終了時点の数値  
 注釈2 申込者数には取次者数を含んでおり、内定者数及び不承諾者数の合計と一致しない  
 注釈3 申込者数には転園申込者数を含まない

# 2020年4月認可保育園第一次審査結果… 不承諾が235名・どうなる待機児童？

今年4月からの保育園新規入園申込みの第一次分の状況がまとまりました。  
 新年度4月開設の私立保育園2園（他6月開設1園）などで保育園定数は増えました。しかし、0歳児は、ほぼ募集数と申し込みが同じくらいですが、地域的な不足などもあつて不承諾が60人と昨年より若干増加しています。また、1歳児は、引き続き「狭き門」で、昨年より減ったとはいえ、129人と三桁の不承諾となり、申込数が募集枠を大幅に越えている状況に変わりありません。  
 2・3才児は認証保育園や保育ママからの転園児を優先して入るようですが、全員の枠が確保されたのか心配です。

また育児休暇も長くなり、育児後の申込みが増えているのかなどの分析も必要ではないでしょうか。  
 両親フルタイム勤務など指数20以上でも入れない、地域的な不足によって入れない方も少なくありません。今後、区は、保育ママなどでの対応しますが、本来認可保育園を希望しているのだから、こうした方も「待機」にかわりません。希望にそって全ての子どもが保育園に入園できるようにする自治体・荒川区の役割が問われます。



## 東京都が「不燃化特区」事業5年間延長… 燃えない・倒れないまちづくりは待ったなし

東京都都市整備局は、災害危険度の高い「不燃化特区」での不燃化事業について目標年次を2020年から25年度に延長するという考えを示しました。  
 計画では、「街の燃えにくさ」の指標「不燃領域率を20年度までに70%にする」としています。しかし全体では、60%に届かず、区内不燃化特区の町屋・尾久地域は62%程度です（右表参照）。  
**町屋2・3・4丁目の不燃領域率は不明のまま…?**  
 この指標には大きな問題があります。町屋地域では尾竹橋通り、都電通りなど幹線道路沿いは、中高層住宅が建設され、耐震・不燃化の戸数が増えているので数字上は不燃領域率が上がります。しかし内側は、人口が密集し狭隘な道路、アパート含め老朽化した木造住宅が多く残されています。また東西尾久、荒川5・6丁目を含む広域の平均値で、町屋2・3・4丁目などの実態は不明です。町ごと丁目ごとの状況を明らかにしてこそ、命を守るリアルな対策も出てくるのではないのでしょうか。

	2018年度	目標
町屋・尾久地域	62.1%	70%
荒川2・4・7丁目	67.1%	

不燃領域率 = 空地率 + (1 - 空地率 / 100) × 不燃化率 (%)  
 空地率 道路、公園などの空地が占める面積割合  
 不燃化率 全建物における燃えにくい建物（鉄筋コンクリート造など）が占める面積割合  
 不燃領域率が70%を超えると市街地の延焼の危険性がほぼなくなるとされています。

**まわりの話題あれこれ（番外編）**  
**第12回柳田邦男絵本大賞の表彰式に参加して…**  
 1月31日、第12回柳田邦男絵本大賞の表彰式に参加。大賞はじめ受賞者の作品は、小学生から中学生、一般の部の大人など多彩でそれぞれ素晴らしい感想文でした（柳田先生にあてた手紙のような感想で好感が持てました）。私はそれ以上に今回の応募が1000件を超えたことも、重要だと感じます。ただ学校や家庭での読書活動を通じて自然な形で出てくることの方が大事だと思います。  
 さて最近絵本に関して気になる話題があります。千葉県袖ヶ浦市の小学校6年の倉持よつばさんの夏休みの自由研究「桃太郎は盗人なのか？」「桃太郎」から考える鬼の正体」で、本にもなりました。絵本で読んだ桃太郎…しかし別の絵本で「鬼だから殺してもいい？」

くらし、子育て、介護、雇用…まず声をかけて下さい。解決の第一歩です

日本共産党区議団町屋地域生活相談センター  
 （横山幸次区議事務所）  
 荒川区町屋5-3-5 TEL・FAX 3895-0504  
 メール: kouji.office@gmail.com

**定例法律相談**  
 毎月第1月曜・午後6時～8時  
 横山幸次区議事務所

私たちは住民のくらしと命を守るネットワークをもっています…いつでもご相談を  
 「定例法律相談」は月一回開催。くらし、子育て、医療、介護、雇用、税金など、国会、都議会の共産党議員団や各分野の専門家とも連携し、ごいっしょに解決のために力をつくします。